

# かながわの風

24  
July  
2019

<http://www.kacsw.or.jp>



## 特集

第27回 日本社会福祉士会  
全国大会・社会福祉士学会  
(茨城大会) ..... p.2・3

- 支部活動PR ..... p.4・5
- 神奈川国際・多文化ソーシャルワーク  
研究会の活動報告 ..... p.6
- 理事会報告 ..... p.7
- 公開講座&研修会 ..... p.8
- 編集後記 ..... p.8





## 第27回 日本社会福祉士

第27回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 茨城大会が、6月1日(土)、2日(日)、つくば国際会議場(エポカルつくば)にて開催されました。令和初の開催となった今大会は、「地域共生社会の実現を目指して～新たな時代にしめす社会福祉士の真価～」と題し、全国から約1千名の社会福祉士が参加しました。

大会のクライマックスでは、元高萩市長で、東北福祉大学特任教授の

### 地域包括ケアシステムにおける精神科ソーシャルワーカーの役割に関する一考察

新美 咲月さん

私は現在、南足柄市の精神科病院で医療ソーシャルワーカーとして仕事をしております。日々のお受けする相談は統合失調症やうつ病の方だけではなく、介護保険の利用をきっかけに、ご高齢の方も来られることが増えているように感じております。

昨今、厚生労働省より「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」が理念として明確にされました。あえて「精神障害にも」と明記されたことを受け、未だ地域の中で精神保健領域は敬遠されているのではないかと感じておりました。今回の茨城大会のテーマは「地域共生社会の実現を目指して」であったため、精神保健領域で働く一社会福祉士として実践報告をしたいと考え、応募を決めました。精神障害を抱える方が、自分らしく安心して暮らすために、私たちはどのようにす

るべきか。地域定着の視点を踏まえ、ソーシャルワーカーの求められていることを考察いたしました。

発表に至るまで、社会福祉士会主催の基礎研修内で、研究の仕方を学ばせて頂き、その後も多くの社会福祉士の方よりご助言を賜り、当日を迎えることができました。

実際に発表を行ってみて、自ら行ってきたことを言語化し伝えていくことの難しさを感じると同時に、多領域からの視点や、課題を改めて見ることができ、社会福祉士であることを自覚し、今後も努力してまいりたいと感じました。

何分にもまだまだ未熟者でございますので、今後ともご指導のほどお願い申し上げます。

### 地域療育センターにおける親子広場の意義

田幸 恵美さん

地域療育センターにおける支援開始までの待機期間の不安軽減と、発達特性が故に地域に行き場の少ない親子が安心して過ごせる場の提供を目的として、親子広場の企画・運営に携わってきました。この研究では、親子広場に参加した保護者の思いの変化について、アンケート調査と半構造化インタビューの結果を元に考察しました。研究から、わが子が楽しむ姿を見、同じ悩みを持つ保護者と出会う場があることは、育児不安を緩和する効果があることが示唆されました。多くを語っていただいた中で、保護者はわが子を愛おしいと思うとともに、発達や将来について慢性的な不安を抱いていることも分かりました。アドボケイトというソーシャルワーカーの役割から、様々な発達段階にいるこども達、その子らしさを認められる場、育児に孤独感を抱える保護者が負担なく過ごせる場が地域に増えていく

よう、今後も関係機関に働きかけていきたいと感じました。

大会に参加したこと自体が初めてであり、分科会の発表は不安が多くありましたが、これまで自分が携わってきたプロジェクトについて発表できたことは、自身のソーシャルワークを振り返り、専門職としての意義を感じ、励まされる機会となりました。1998年に米国で社会福祉学修士課程を修了し帰国した時から、出産や育児、度重なる転居で切れ切れとなっていた自身のキャリアの中で、3年前にやっと日本の社会福祉士の資格を取り、こうして学会で発表する機会をいただきました。これは現職場の理解と家族のサポート、そして、この仕事を通して出会ったこども達とそこご家族の存在があったからこそで、心から感謝しています。

# 会全国大会・社会福祉士学会(茨城大会)

草間吉夫さんが登壇。「私が歩んできた道」と題した記念公演では、自身の社会的養護の経験を、ユーモアを織り交ぜながら紹介しました。福祉とは「天分発揮=自己実現」と位置づけながら、社会的養護を受けている子どもの自立について「家庭から受けている、個人の持っている課題がある」と指摘し、長期的になるが「潜在的な能力を引き出し伴走していくことが助けになる」と語りました。



西島会長講評

## 参加された方々に、全国大会参加の意義と感想を伺いました。

### 多くの出会い、たくさんの学びの機会として

徳田 千春さん

第27回日本社会福祉士会全国大会、茨城大会に行ってきました。

竹端先生の基調講演、シンポジウム、懇親会、翌日の分科会、そして草間先生の記念講演という流れでした。

講演や分科会で興味深い話を聴き、懇親会でいろいろな方と出会い、たくさんの刺激を受けました。

個人的には記念講演の際に質問する機会があり、貴重な体験となりました。来年は、高知県での開催となっています。せっかくなので観光を兼ねてまた参加したいと思っています。



### 全国大会に初めて参加して

武井 真理子さん

初めての参加で最も印象に残った事は、熊本震災についての分科会の発表時の事です。広島県の西日本豪雨や北海道の胆振東部地震の際の動き方など真剣な質疑応答があり、社会福祉士会としての可能性を感じる事ができ貴重な体験でした。



## 次回、第28回は 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(高知大会)

**開催日時** : 2020年6月6日(土)・7日(日)

**会場** : 高知県立県民文化ホール  
高知県立大学永国寺キャンパス

詳細は、日本社会福祉士会 ホームページにて随時お知らせいたします。





# 支部活

## 横須賀・三浦支部

2019年度は、昨年度に引き続き「子供への支援」を目標にし、研修・実践、7士業合同相談会等を通して気づきと専門性の向上を図っていきたくと考えています。

そして、私たちの支援を必要とする人たちの問題は家族、地域、社会との“関係”にあることを踏まえ、今年度は、社会福祉士としてより幅広い視野と深い知識をもって実践を行っていくために新たな活動として障害（7月）、多問題（11月）、精神的な問題（3月）をテーマで事例検討会を行って予定です。地理的に支部活動に参加しにくいと思いますが支部会員のみなさんの参加を期待するとともに事例の提供をお願いいたします。

支部長（吉田 勝利）

## 横浜支部

現在、横浜支部の会員数は1,000人を超えました。支部には6つの地域連絡会が（中部、西部、南部、北部、鶴見区、港北区）あり、それぞれ自主的に勉強会や地域のイベント参加等を行っています。どの連絡会も参加は自由です。

支部ではこれからも会員一人ひとりが社会福祉士の専門性を活かし、地域に貢献することを目指し歩みを進めて行きます。 支部長（松下 圭一）

### 〈支部研修のご案内〉

○横浜市社会福祉士会 連続講座 上級編  
～今こそソーシャルワーカーが倫理的課題に挑む～

日時：① 9月28日（土）13:30-16:30  
② 11月16日（土）13:30-16:30

会場：港南区福祉保健活動拠点

概要：事例から倫理的課題をひも解き支援に活かす手法を学ぶ。

講師：西川ハンナ氏・蝶名林亮氏（創価大学）  
\* 詳細は県士会HP参照

◎ブログ、Facebookでも発信中。「横浜市社会福祉士会」で検索！



## 相模原支部

相模原支部は、今年度も『地域に生きる社会福祉士』をテーマに、様々な分野で活動している方々との交流をはかる活動を進めます。

また、地区で活動する部員一人一人の思いを大切に共感し行動に移していける仲間づくりを進めていけるように、協働・協調・共感をテーマに、支部が、気軽に集える場所になればいいな、と考えています。

皆さんの力で、思いを形にする支部活動でありたいと思います。

みんな、集まれ！

支部長（小野澤 和美）

## 川崎支部

川崎支部では、年々、市内にある田園調布学園大学との交流を年々深めています。

8年前からDCU祭（学園祭）に参加し、社会福祉士への理解と啓蒙・社会福祉士のPRを行い、一般相談・学生の就職相談にも応じてきました。

昨年からは、組織向上委員会とともに「たまひよ」の場としても、より積極的な活動を展開してきています。

昨今のますます複雑で多様化する問題に対しては、より一層、社会福祉士の多職種連携を感じます。

会員相互に高いレベルの社会福祉士としての力量を目指し、語れる支部活動を進めていきたいと思っています。

支部長（平山 みちる）

## 県央支部

ソーシャルワーカーとして様々な職種や現場でご活躍されている皆さんに、まずは「お疲れ様です!」と申し上げます。皆さんはどんな思いで日々対人援助にかかわっていらっしゃいますか?孤軍奮闘されている方も多いのではないのでしょうか。県央支部では、働く場が異なる会員同士が集まり、支部活動を通じて仕事の悩みや事例などを語り合うことができる機会を大切にしています。

事業としましては、公益法人として住民向けに講演会や映画会の開催や、自治体の福祉フェスティバルに出店し、社会福祉士の啓発活動を行っています。

毎月第一金曜日に定例会を開いておりますので、是非おいでください。皆さんの参加をお待ちしております。

支部長(池田 雄一)

## 湘南東支部

### 「防災ソーシャルワーカーを目指す」

湘南東支部は、この2年会員同士の顔の見える取り組みをスローガンに会員同士が集える場を模索し企画検討して来ましたが、300名近い会員の話や志向、共通性が見出せず支部長の力不足を痛感しました。そこで皆に相談し共通項を探った結果、防災を中心に取り組むことになりました。

近年神奈川は幸いにも激甚災害に見舞われていませんが、その日に備え防災チームを結成(倉西チームリーダー)し活動して行きたいと思っています。又、活動が一人に偏らない事務局体制(西山事務局幹事)を構築し、真に仲間と言える体制を創りたいと思っています。

支部長(岸谷 一則)

## 西湘支部

西湘支部は会員約150名の最も小さな支部ですが、顔の見える関係づくりをモットーに、会員の皆さんが気軽に参加できる支部活動を目指しています。

今年度は「災害と社会福祉士」をテーマに研修を企画していきます。6月は災害対応カード・クロスロードを体験しました。次回は経済学の視点から見たソーシャルワークについて県民公開講座を開催します。是非お越し下さい!

1人職場で相談できる人がいない方、変則勤務で活動に参加しづらい方、子育て世代の方など、領域を越えて仲間と繋がりましょう♪

支部長(重本 晴賀)

### 〈今後の活動予定〉

テーマ『気にかける』が地域を動かす

～ソーシャルワーカーという名の希望～

講師：慶應義塾大学経済学部 教授 井手英策氏

日時：11月16日(土) 13:00～17:00

会場：おだわら市民交流センター UMECO

定員：120名(先着順)

また、ホームページ、Facebookで情報発信していきます!

## 湘南西支部

湘南西支部は、JRの海沿いの平塚市、大磯町、二宮町と、小田急線沿線の伊勢原市、秦野市の3市2町の地域です。近年の各地の災害情報に、自分達は、「その時どうしたら良いのか」をテーマに、原点に戻り、顔の見える関係、コミュニケーションを取れる関係の構築を目標にしました。自由に気楽に話せる「さろん・ど・うえすと」を2回、開催する事にしました。

民法の改正に合わせて「民法大改正 相続について」の研修を行いました。また、今年度は児童を中心にした一般向けの「なるほど講座」を10月下旬に予定しており、最近の児童問題にも焦点を当てて行こうと思っています。

今年度は、定期的な定例会は予定しておりませんが、随時、メールやホームページで開催のご案内をしますので、会員皆様の参加をお待ちいたします。

支部長(和田 貴子)

# 神奈川県国際・多文化ソーシャルワーク研究会の活動報告

会長 平田 美智子

## 多文化ソーシャルワーク研修会を開催しました

3月16日(土)～17日(日)、多文化ソーシャルワーク研修会に全国から28名が参加し、入管法、社会保障制度、教育支援、通訳支援、多文化支援の視点等を学び、懇親会では受講者の取り組み事例等を共有することができました。

本年度は、11月23日(土)～24日(日)で開催を予定しているので、外国人介護士の支援に携わっている方、今後受入れを検討している方、多文化理解を深めたい方等、是非、お申込み下さい。



## 国際ソーシャルワークデー記念イベントに参加してきました

毎年、3月第3火曜日は、国際ソーシャルワークデーで世界のソーシャルワーカーが集い、様々なイベントを開催します。

日本では、日本ソーシャルワーカー連盟(JFSW)が主催で、3月23日(土)に記念イベントを開催し、災害ソーシャルワーク・ワークショップ(宮城県石巻市)の報告後、4人のシンポジストによる取り組み事例発表があり、研究会も参加し、意見交換をしてきました。



## 神奈川県社会福祉士会代議員総会で講演をしました

6月23日(日)の代議員総会後の講演で、研究会の会員であり、NPO法人多言語社会リソースかながわ(MICかながわ)の理事である鶴田光子さんが理事と代議員等を対象に多文化ソーシャルワークの視点をお伝えしました。

入管法の改正等により、日本でも外国人と関わる機会は増え、共生社会実現のための活動が必要となります。研究会の会員が皆様の支部に出前講座をすることができますので、是非、お声掛け下さい。

## 研究会とスタディーツアーを開催しました

5月の研究会では、「経済連携協定EPA・インドネシア人介護士が活躍するために必要な支援とは」をテーマにシャローム横浜で研修担当をしている上前至さん、候補者のナタさんから学びました。その内容は、6月5日(水)付の高齢者住宅新聞で紹介されました。

6月のスタディーツアーでは、伊勢原市内にあるカンボジア寺院の見学ツアーを開催し、上座部仏教を信仰するカンボジア人の特徴や相談支援上の配慮等を学びました。



## <2018(平成30)年度 理事会 報告> (偶数月開催以外は臨時理事会となっています)

■臨時理事会 平成31年3月17日(日) 13:15~15:00 藤沢市役所新庁舎5階 第3会議室

議長: 山下会長、理事出席15名 事務局1名 議事録署名人: 出席全理事 江原監事

**審議事項:** 第1号議案: 入退会審査—2月入会0、退会は10名、転入2名、転出0、2月末で会員数は3,018名、組織率18.39%、承認  
第2号議案: 2019年度事業計画案—事業計画案の全体内容異議はなく承認 第3号議案: 2019年度予算案予算書案 承認  
第4号議案: 2019年度資金調達及び設備投資の見込み 資金調達の見込み及び設備投資の見込み共に予定なし 承認  
第5号議案: ぱあととなあ神奈川成年後見人候補者名簿登録状況及び後見人等候補者推薦、法人後見状況 名簿登録に係る異動状況は3月1日登録者数564名、新規登録、抹消等はなく家裁名簿登録者数は3月1日で484名。後見人等候補者推薦の状況は、3月15日現在、推薦依頼35件、推薦済19件。法人後見件数は10件。承認 第6号議案: かがやき小田原事業終了2018年度末をもって受託を終了とする。承認

**協議事項:** ①3月末理事会開催日程 ②平成31年度理事会日程 ③子ども家庭福祉業務にかかる国家資格創設の動きに関する署名等  
④2019年度代議員総会講演会 ⑤14士業合同相談会後援及び相談担当者派遣依頼(7月20日に相談会実施) 以上了承

**報告事項:** ①関東甲信ブロック連絡協議会2月16日山梨県にて開催 ②日本社会福祉士会臨時総会 ③子ども家庭支援関係講演会・意見交換会報告 ④正副会長動向確認 ⑤会計進捗状況2月分 ⑥各推薦・後援状況 ⑦2月20日開催通常理事会議事録  
⑧地域生活定着支援センター採用職員資料回覧

\* 理事会終了後、支部役員連絡会を開催した。

■臨時理事会 平成31年3月28日(木) 19:00~20:00 神奈川県社会福祉会館1階 第3会議室

議長: 山下会長、理事出席12名 事務局1名 議事録署名人: 出席全理事

**審議事項:** 第1号議案: ぱあととなあ神奈川名簿登録審査 審査対象者は新規登録申請者22名、更新登録者は544名。  
544名のうち受任有412名。再登録は2名。審査の結果、名簿登録者数はその合計の568名 名簿登録者について審査結果案の人数で承認 第2号議案: 成年後見相談員の委嘱 承認

**協議事項:** ①代議員総会日程・講演確認 ②2019年度第2回理事会日程調整 以上了承

**報告事項:** ①3月17日開催臨時理事会議事録

## <2019(令和元)年度 理事会 報告>

■第1回通常理事会 平成31年4月20日(土) 14:00~15:30 神奈川県社会福祉会館1階 県身連集會室

議長: 山下会長、理事出席12名 事務局1名 議事録署名人: 出席全理事 江原監事

**審議事項:** 第1号議案: 入退会審査 3月入会0、退会61名、転入5名、転出5名、3月末会員数2,957名、組織率18%。承認  
第2号議案: 2019年度支部活動費 横浜支部412,960円 川崎支部189,803円 横須賀三浦支部104,066円 湘南東支部150,885円  
湘南西支部144,303円 県央支部214,000円 西湘支部169,587円 相模原支部127,105円 合計1,512,709円の交付 承認  
第3号議案: 2019年度生活困窮者等就労準備支援事業及び居住の安定確保支援事業(かがやき厚木)業務委託契約 承認  
第4号議案: 2019年度秦野市生活保護受給者就労準備支援事業(せせらぎ)業務委託契約 承認  
第5号議案: 2019年度神奈川県介護支援専門員実務研修受講試験受験審査業務の委託契約 承認  
第6号議案: 2019年度神奈川県生活困窮者自立支援制度都道府県研修事業委託契約 承認  
第7号議案: ぱあととなあ神奈川名簿登録審査 名簿登録に係る異動状況は、4月1日登録者数568名、新規登録無し、抹消1名、家裁名簿登録者数4月1日で567名。後見人等候補者推薦の状況は、4月10日現在、推薦依頼34件、推薦済13件。継続調整中20件。法人後見は10件。承認 第8号議案: ぱあととなあ神奈川成年後見相談員追加委嘱 承認 第9号議案: 代議員総会開催(通知案・議事案・基調講演講師案と講演テーマ)総会議事等確認 承認 第10号議案: 規則改正案 承認  
第11号議案: 神奈川県大規模災害対策士業連絡協議会への参加 標記協議会へ本会も参加する 承認  
第12号議案: 2019年度支部役員体制 次回理事会で全支部を確認する—継続審議 第13号議案: 2019年度神奈川県地域生活定着支援センター業務委託契約 承認

**協議事項:** ①5月開催の第2回理事会日程 了承

**報告事項:** ①各推薦後援状況確認 ②正副会長動向(前回理事会以降4月19日迄) ③各事業部(委員会)2018年度2月・3月の活動報告 ④各支部2018年度2月・3月の活動報告 ⑤3月28日開催臨時理事会議事録 ⑥会計進捗状況3月分  
⑦2019年度職員体制 ⑧地域生活定着支援センター・かがやき厚木 採用職員資料回覧 以上了承

月	日	開始時間	終了時間	研修名	概要	場所	主催	対象	費用
7	27	10:00	12:00	「安心できる相続のために」 ～相続・家族信託の活用術～	相続や家族信託について 講師：八木橋 昭夫氏 (ラックコンサルタント)	鶴見区福祉保健 活動拠点	横浜支部	今回の テーマに 興味のある方	無料
8	30	18:30	20:30	外国人の子どもたちの 生きにくさ ～すたんどばいみー の活動から～	NPO法人外国人支援 ネットワークすたんどばいみー 西岡 歩氏による講演	横浜市西区福祉 保健活動拠点 フクシア	神奈川・ 国際多文 化ソーシャル ワーク 研究会	興味関心 のある方	研究会 会員無料、 非会員 500円
9	6	19:00	20:30	貧困の連鎖 ～ソーシャルアク ションの必要性～	『下流老人 一億総老後崩壊 の衝撃』(朝日新聞出版) 著者 藤田孝典氏 (NPOほっとプラス代表、聖学院 大学准教授)による講演	てくのホール (溝の口駅より 徒歩5分)	川崎支部	会員、 一般	無料
9	14	<del>14:30</del> 14:00	<del>16:30</del> 16:00	情報交換会(サロン)	「貧困連鎖の解決とソーシャル アクション」をテーマにしたフリ ートーク。 お菓子の差し入れ大歓迎。	北身館 (溝の口駅より 徒歩5分)	川崎支部	会員	無料
9	28	13:30	16:30	横浜市社会福祉士会 連続講座 上級編 ～今こそソーシャル ワーカーが倫理的 課題に挑む～	事例から倫理的課題をひも解き 支援に活かす手法を学ぶ。 講師：西川 ハンナ氏・ 蝶名林 亮氏(創価大学)	港南区福祉 保健活動拠点	横浜支部	今回のテーマ に興味のある方 (初中級未 受講者も可)	1000円
10	11	18:30	20:30	ベトナムとタイからの 技能実習生「介護」 を支援する	株式会社さくらパートナーズ 河野 眞吾氏による講演、 質疑応答、懇親会	横浜市西区福祉 保健活動拠点 フクシア	神奈川・ 国際多文 化ソーシャル ワーク 研究会	興味関心 のある方	研究会 会員無料、 非会員 500円
10	12	10:00	14:00	寒川町ふれあい 福祉フェスティバル	広報活動、スタンプラリー、 展示企画等	寒川中央公園	湘南東 支部 (出展)	一般 (出展 運営は 会員)	無料
10	12	13:30	16:00	たまひよユース	20代、30代の若手社会福祉士 のニーズを聞き、会の活動に 反映する新しい試みです。	横浜市西区福祉 保健活動拠点フク シア多目的室	組織向上 委員会	20代、 30代の 会員	無料
10	26	15:30	17:00	情報交換会 (サロン)	参加者によるフリートーク。 社会資源の情報共有。 <b>開催はありません</b>	北身館 (溝の口駅より 徒歩5分)	川崎支部		無料
11	16	13:30	16:30	横浜市社会福祉士会 連続講座 上級編 ～今こそソーシャル ワーカーが倫理的 課題に挑む～	事例から倫理的課題をひも解き 支援に活かす手法を学ぶ。 講師：西川 ハンナ氏・ 蝶名林 亮氏(創価大学)	港南区福祉 保健活動拠点	横浜支部	今回の テーマに 興味のある方	1000円

## 編集後記

### 砂の「絆」

東日本大震災をはじめ、多くの災害が発生するたびに、日本人はその漢字、「絆」を繰り返し胸にたたためてきた。先日、とある鉄道を利用していた際に人身事故により遅延が発生した。サラリーマン風の男性が舌打ちをしたのが今も私の耳を離れない。他人の「死」ですら単なる情報として処理され、自己の都合に照らされる、そんな社会であってはならないと考えるわが身も同じような日々を繰り返していることに気が付く。この上半期だけでも多くの幼い命が犠牲となる暗いニュースにいくつも触れてきたが、日々の生活

の中では感情が細切れにされ、そして人はそれに慣れてしまう。新聞や配信されるニュースの中の活字として処理され、想いを寄せる時すら忘れてしまう…。

世界有数の先進国でありながら、毎年3万人前後の自殺者を生んでしまう我が国においてパフォーマンスのような政治や見せかけの経済より、もっと深部にあるものに目を向けなければならないだろう。今日、明日をどのように生きるか、差し迫っている状況に誰もが手を差し伸べることができる、そんな社会を「絆」と呼ぶのだろう…。社会福祉士にできることは何か、「社会福祉士」という資格は何か、今一度見つめ直したい…。(広報委員長：日向 明)